



## 大阪・関西万博機運醸成

# 列島縦断！2025年日本国際博覧会鉄道コンテナリレー企画

## 出発式【大阪・関西万博開催2年前記念】

(吹田貨物ターミナル駅10周年、吹田操車場100周年記念イベントと連携して)

- |      |                      |
|------|----------------------|
| 主催   | 一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構   |
| 協力   | 万博首長連合               |
| 特別協力 | 日本貨物鉄道株式会社           |
| 後援   | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 |

## ■企画概要



夢洲新産業・都市創造機構では、**大阪・関西万博開催2年前を記念し**、万博首長連合の協力と、全国を繋ぐJR貨物の特別協力により、'70年大阪万博会場近くのJR吹田貨物ターミナル駅を2023年5月に出発、日本全国の拠点貨物ターミナル駅で大阪・関西万博機運醸成イベントを開催しながら、2025年4月に大阪・関西万博会場（夢洲）近くの安治川口駅に到着する「**列島縦断！2025年日本国際博覧会鉄道コンテナリレー**」を企画します。

出発式の後、日本各地で開催する**大阪・関西万博機運醸成イベント**は、メイン会場を日本全国に展開されているJR貨物の貨物駅（駅ナカ会場）とし、万博首長連合傘下の周辺自治体の出展協力のもと、多様な地域の産品や伝統文化、食の発信や、地域のSDGsの取組のアピールを通じて、地域住民に大阪・関西万博への期待感を醸成していきます。

また、サブイベントとして、JR貨物と繋がりの深い各地の中央卸売市場をサブ会場（オフルール会場）として、そこで開催される市場フェス（まつり）等との併催として企画し、周辺地域と連携したSDGs精神が宿る日本各地の食文化の紹介やエシカルメニューの試食体験等を通じて、大阪・関西万博の開催意義などを伝えていきます。

- 【主催】一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構
- 【協力】万博首長連合
- 【特別協力】日本貨物鉄道株式会社
- 【後援】公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- 【開催日時】2023年5月6日(土) 10:30~11:30
- 【会場】JR貨物 吹田貨物ターミナル駅
- 【次第】
  - JR貨物音楽部のオープニング演奏
  - 来賓のご挨拶
  - 記念撮影
  - テープカット・コンテナ列車出発
  - JR貨物音楽部の記念演奏





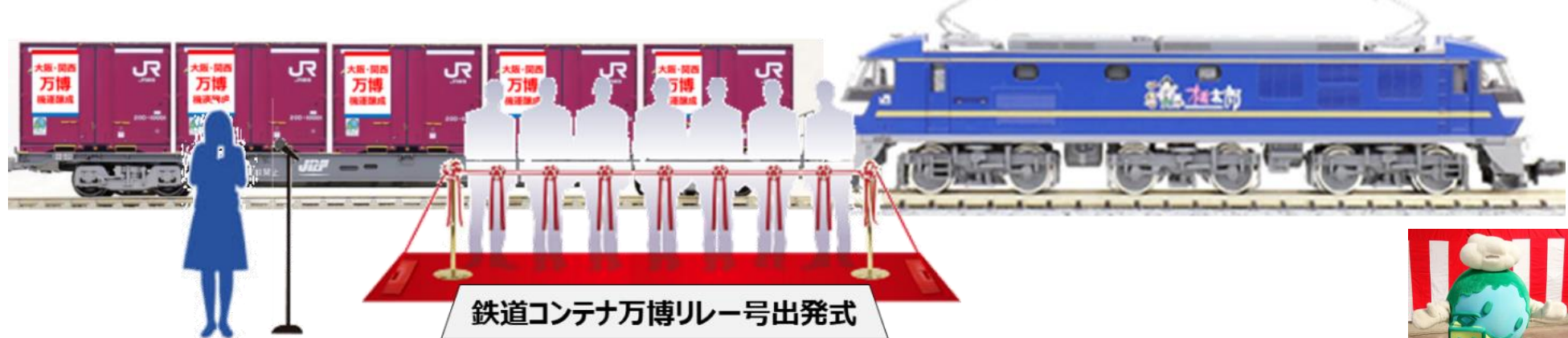
## ■ JR貨物 吹田貨物ターミナル駅



JR貨物が提供する、非日常の空間の中で開催する出発式。大阪・関西万博機運醸成のヘッドマークをつけた機関車とコンテナ列車が開幕2年前に線路を走り出し、各地を回った後、2025年に大阪・関西万博会場(夢洲)近くの安治川口駅に到着します。



## ■「列島縦断！2025年日本国際博覧会鉄道コンテナリレー」出発式イメージ



### 大阪・関西万博開催2年前プロジェクト

#### 1) 出発式は来賓と招待客とプレス（マスコミ）を招待して開催

- 同日午後～、JR貨物は、周辺市民を招待して「吹田貨物ターミナル駅10周年」「吹田操車場100周年」のイベントを併催する予定。

#### 2) 大型コンテナに会場を設定し、式典を進行する演出

- 会場にJR貨物保有の大型コンテナを数台設置し、非日常感を演出。
- 12フィートコンテナを数個搭載し、万博コンテナ列車に仕立てます。

#### 3) ポスター類も会場に設置するコンテナ内へ掲示

#### 4) 各地のゆるキャラ、ミyakumyak、エコレールマークちゃんの参加 カンカラカン(株)のビジョントラックにてデジタルポスターや 機運醸成動画の放映、JR貨物音楽部による演奏などを予定。





## ■Connecting Lives (いのちをつなぐ) に貢献

TEAM  
EXPO  
2025

夢洲機構が担う共創パートナープログラムの一環で、ひとつの「共創チャレンジ」イベントとして取り組みます。

夢洲新産業  
都市創造機構  
情報発信  
プロモーション

### 全国複数拠点イベント体験型情報発信

万博と地域、地域と人が繋がることで、社会を豊かにします。ラッピングコンテナをバトンに日本各地の拠点で展開されるイベントで、多様な地域の産品や伝統文化、食の発信を通じてSDGsの取り組みのアピールと万博への期待感を醸成します。

JR貨物  
コンテナ貨物駅  
(イベント会場)  
コンテナ列車

## 大阪・関西万博 機運醸成に繋ぐ

万博首長連合  
加盟自治体  
出展協力

夢洲から遠く離れた地域でも、大阪・関西万博の楽しさや幸せ感を体験する共に、全国味腕自慢共創EXPOなどの開催により万博から地域への誘客にも寄与します。



## ■ JR貨物の特別協力

日本各地の**貨物ターミナル駅を拠点**に、周辺自治体・住民や地域経済を万博に繋がります

'70年万博会場近くの吹田貨物ターミナル駅を出発

**2023年5月(出発式)**



関東・東北など複数の拠点でのイベント

**2023年~2024年**



九州・中国など複数の拠点でのイベント

**2024年~2025年**



提供: 2025年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博会場に近い安治川口駅に到着

**2025年4月(到着式)**



## ■ 拠点貨物駅でのイベント概要

2023年5月

出発式／  
吹田貨物ターミナル駅

2023年～2025年

メインイベント／複数の拠点貨物駅  
サブイベント／拠点貨物駅周辺

2025年4月

到着式／  
安治川口駅



### ➤ 出発式

大阪・関西万博開催2年前プロジェクトとして開催

【場所】吹田貨物ターミナル駅

【概要】

- 来賓と招待客とプレス(マスコミ)を招待して開催
- ご来賓のご挨拶、記念撮影、テープカットを行い、コンテナ列車が出発
- コンテナへ各種パネル展示
- 自治体ゆるキャラ、ミyakumiyakuの応援
- JR貨物音楽部の演奏
- プレス、メディアの取材

### ➤ イベント

【場所】各支社拠点貨物ターミナル駅および周辺

【概要】

- 周辺自治体のお国自慢
- 日本文化、産品などを通じたSDGsへの貢献紹介
- キッチンカーなどによる味自慢 など

### ➤ 到着式

【場所】安治川口駅

【概要】

- ヘッドマーク取り外し



## 万博へのバトンリレー





## ■ 全国の拠点貨物ターミナル駅から万博機運醸成



関西ではある程度の機運の高まりがみられるものの、全国では万博の機運は低調で、若者世代へのアピールも十分ではないといった課題があります。

**鉄道コンテナリレー**では、大阪での出発式の次は、東京等でのイベント開催を検討します。



隅田川駅（仮）



仙台貨物ターミナル駅（仮）

東京等での開催は、秋口に開催される既存イベント（貨物フェスティバルなど）との併催を検討。イベントコストを押さえつつ、万博首長連合傘下の多くの周辺自治体に出展して頂きます。万博リレー号の展示および、コンテナごとに自治体ブースを設置し、それぞれ自然や産業・技術、文化・風習、食、工芸・特産品などを展示するとともに、独自のSDGsへの取組などを紹介。キッチンカーと連携した特産品の味自慢も検討。博覧会協会ブースや夢洲機構ブースなども設置し、イベントを万博機運醸成と地域誘客の触媒としてまいります。



## ■ 沿線の中央卸売市場などオフレール会場での開催

’70年大阪万博当時、貨物専用線が各地の中央卸売市場へ乗り入れ、国鉄の貨車が直接市場に農産品や青果物を届けていました。それから50年以上たった現在、長距離トラックで輸送される割合が増えたり、近隣貨物駅からトラックへ積替えられるなど輸送方式が換わりましたが、2050年カーボンニュートラルをはじめとしたグリーン社会の実現に向け、CO2排出量が営業用トラックの1/10であるコンテナを利用した鉄道貨物輸送が見直されています。

その各地の卸売市場で開催されるさまざまなイベントと併催するカタチで、「食」による健康、食料ロスの削減、食のエシカル消費（地産地消、農福連携）の薦めなど周辺地域と連携した展示やエシカルメニューの試食体験を通じて、**大阪・関西万博**の開催意義などを伝えていきます。

### メインイベント

#### サブイベント

万博首長連合

周辺自治体

既存イベント併催

JR貨物

列島縦断！  
コンテナリレー

夢洲新産業  
都市創造機構

情報発信  
プロモーション

#### サブイベント

卸売市場

周辺の市場

既存イベント併催

食・エシカル・SDGs





全国津々浦々  
あなたの街のターミナル駅に！！  
キッチン側で、ご当地食フェス開催  
ビジョン側で、大型画面動画放映

## ■カンカラカンのキャラバントラックがリレーに伴走

(一台で、大型キッチンと大型ビジョンを搭載 \*ソーラー電源)



NEW 2 in 1 TRUCK

VISION  
& STAGE

Healthy  
FOOD



提供：2025年日本国際博覧会協会



CARAVAN TRUCK

カンカラキャラバントラック



CaNcRaCaN

SARAYA